

経営比較分析表（平成29年度決算）

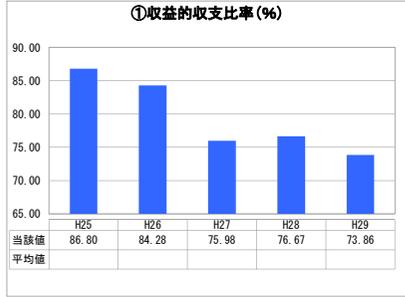
埼玉県 毛呂山町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	1.61	96.23	1,890

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
34,207	34.07	1,004.02
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
546	0.24	2,275.00

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



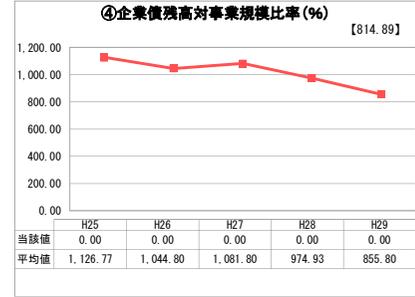
「単年度の収支」



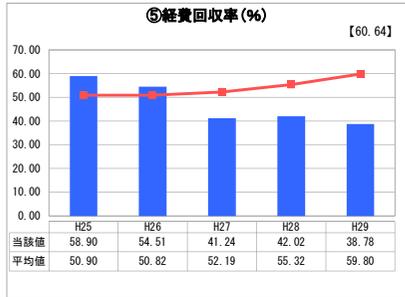
「累積欠損」



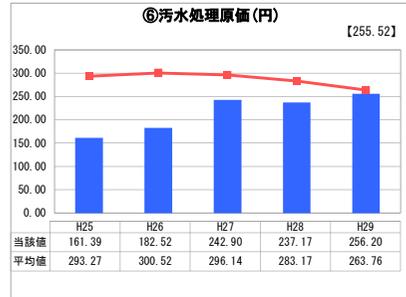
「支払能力」



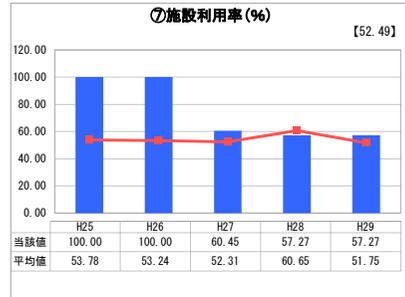
「債務残高」



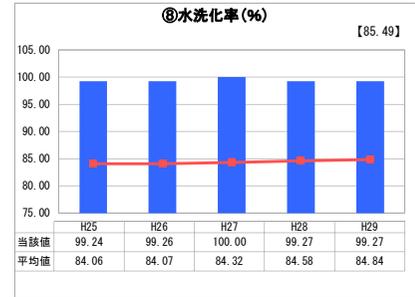
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

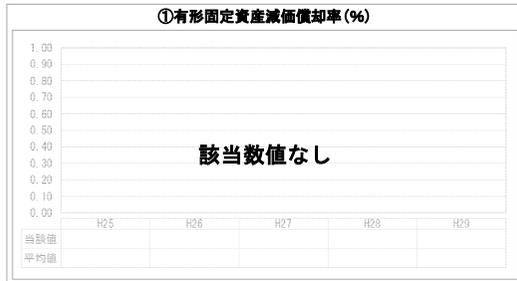


「施設の効率性」

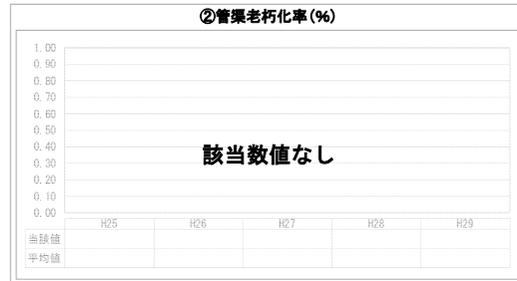


「使用料対象の捕捉」

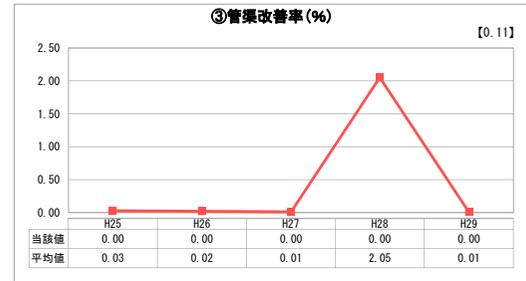
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率・経費回収率
 ・収益的収支比率は100%未満となっており総収益でまかないきれいでありません。また、経費回収率は全国平均より低く、地方償還金や費用不足分は一般会計からの繰入金により賄っている状況です。これらが年々減少傾向にある原因として考えられることは、利用者の減少に加え修繕費の増加が大きな要因と考えられる。今後は収益的収支比率及び経費回収率を高くできるよう一層の経費削減に努めます。

汚水処理原価
 ・汚水処理原価は全国平均よりも高くなったが、ほぼ同等なので今後も維持できるよう経費の削減・節減に努めます。

施設利用率
 ・類似団体平均と比較すると高い数値であります。より高い数値になるよう施設利用率の向上に努めます。

水洗化率
 ・水洗化率が99.27%とほぼ100%であるため、公共用水域の水質保全が図られています。今後は100%になるよう啓発等により接続率向上に努めます。

2. 老朽化の状況について

供用開始から10年以上が経過している処理場もあり、機械等の故障や老朽化が危惧されますが、優先順位を決め、効率的な維持・修繕を行ってまいります。

全体総括

収益的収支比率及び経費回収率が低い数値となっています。これらの数値を高くし、汚水処理原価を低い数値に維持するために、より一層経費の削減・節減に努めます。
 また、管渠・処理場等の点検を行い、劣化が確認された箇所から優先して修繕を行うことで、生活環境の維持・向上に努めます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。